

緑化だより

No.126 平成29年4月号



サクラ(神代曙)

4月は休園日ありません

- 季節の花(ヤマザクラ)
- 小さな世界こけ
- 昆虫の話(春のアゲハ、夏のアゲハ)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

ひろしま 緑学りょくがくの森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

ヤマザクラ

「ひさかたの 光のどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ」

紀 友則 (古今和歌集 巻1、春歌上、84番)

紀貫之の従兄弟である友則が「桜の花のちるをよめる」と前書きして、「のどかな日の光のさしている春の日に、なぜ桜の花は静かな心もなく、このようにせわしく散ってゆくのだろうか」と詠んだ有名な歌です。わずかな期間に咲き誇り、散っていく桜に心を惹かれるのは、今の人も平安時代の人も変わらないですね。

ヤマザクラはバラ科サクラ属の落葉高木で、本州(宮城県以西)・四国・九州に分布し、朝鮮半島にも知られています。花は2月下旬～4月下旬、葉が出ると同時に開花します。野生のヤマザクラは個体によって、開花時期がばらばらですが、寿命で800年を超えるものがあります。広島県内では、ヤマザクラは海岸から山地のブナ林下部まで分布し、近縁種にカスミザクラとオオヤマザクラ(別名エゾヤマザクラ)があります。



ヤマザクラ

通称「八重桜」といわれるサトザクラの多数の品種は、ヤマザクラが原種です。

「さくら」という名の由来は、『古事記』に登場する「此花咲耶姫(このはなさくやひめ)」が、桜の種子を最初に富士山に蒔いたとして、「さくやひめ」という名前が「さくら」になったと言われています。日本人と桜の歴史は1000年以上前から続いており、桜は国花となり、また昔からお花見と言う、世界でもめずらしい風習があります。

現在、日本で植栽されている桜は80%以上がソメイヨシノ(染井吉野)です。ソメイヨシノはオオシマザクラとエドヒガンの交配種で、江戸時代末期に染井村(現 東京都豊島区)の植木屋が「吉野桜」と名付けて売りだしました。

桜前線は九州南部で咲き始めて、北海道の北部で咲き始めるまで、約2カ月をかけて北上します。

緑化センターには、桜が約50品種、自生や植栽など約700本以上が見られます。開花に合わせて出かけて見ましょう。(上村)

小さな世界 こけ

“こけ”という言葉から思いつくのは、京都の苔庭、日本の国歌、庭に生えるゼニゴケ、木の幹につくコケなどでしょうが、草花やキノコに比べると、邪魔者扱いされることはあっても立ち止まって見ることはほとんどないと思います。散歩やハイキングに行くときはルーペを持って出かけ、じっくり観察してみてください。小さな中に今まで想像もしていなかった世界が広がっています。

日本にはコケ植物は2,000種類あると言われ、それぞれ個性的で複雑な特徴を持っているものがたくさんあります。コケの同定は、葉のつき方、葉の形、蒴(胞子が入っている器)の形のほか、葉の断面を顕微鏡で覗いて細胞の特徴などから行います。

まず、よく知られているスギゴケから見てみましょう。苔庭を作るとき、まず第一

に候補にあがるコケではないでしょうか。

スギゴケは大型のコケで、スギの実生とよく似た先のとがった葉をしており、仲間にオオスギゴケ、ウマスギゴケなどがあります。

明るい場所で、やや湿り気のある土にマットをつくります。乾燥しても葉は縮れず茎に寄り添い、湿ると開きます。雌雄異株で、雌株がつける孢子体は帽子をかぶっていますが金色の毛があるのが特徴です。雄株は花の様な雄器をつけます。

コケの名前や各部の名称は聞きなれない単語ばかりですが、あきらめず小さな世界に挑戦してみてください。(山根)

昆虫の話

春のアゲハ、夏のアゲハ

春、暖かくなり色とりどりの花が咲き始める頃、待っていたかのように様々な昆虫たちが姿を現します。中でも、花から花へと優雅に飛び回る「ナミアゲハ」は、多くの人々から愛されている蝶です。

ナミアゲハは、早いところでは3月から、遅くは11月まで成虫の姿を見ることができ、郊外だけでなく都市部でもよく見られるアゲハチョウのなかまです。都市部に生息できるのは、ナミアゲハの幼虫が食草として好むサンショウやユズが庭木として植えられているからです。サンショウやユズを育てたことがある人は、鳥の糞にそっくりの若齢幼虫や、緑色の大きな終齢幼虫がつき、葉っぱを食べ尽くされた経験があることでしょう。

このように、いつでもどこでも見ることのできるナミアゲハですが、春のナミアゲハは他の季節とは違う美しさを持っています。

一年間に何回も羽化をするチョウの仲間は、その羽化をした季節により少しその姿が異なります。季節型と呼ばれるこの違いは、幼虫時代の一日の昼の時間の長さや食草の状態などの違いが原因として起こると言われています。ナミアゲハの春型は夏型と比べて小型で、はねの模様の黄色の面積が大きく、黒の面積が小さく、うしろばねの橙や青の斑紋がよく目立ちます。春のナミアゲハは春の暖かな日差しを浴び、柔らかなクリーム色に輝くのです。

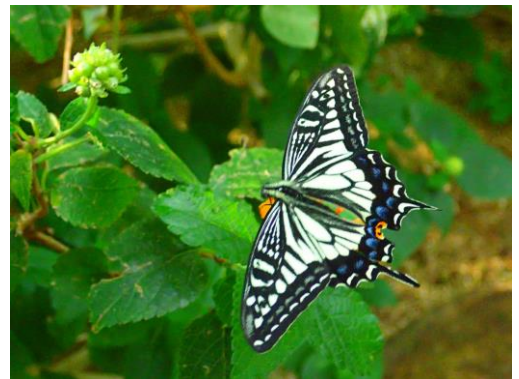
可憐な春のナミアゲハが可愛らしい桜の花に訪れる姿は、チョウと花、それぞれの美しさをより高めて見せるのかもしれない。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



スギゴケの雌株と孢子体



スギゴケの雄器



パピオンドームで飛ぶナミアゲハ



左:春型

右:夏型

研修会のご案内

- 4月6日(木) 『果樹の手入れ 春』
春の手入れについて
※自由参加、無料、

10:00～12:00 学習室 集合
講師：元県立農業技術センター
果樹研究部三原分室室長
石井 實

- 4月7日(金) 『4月の自然探勝』
雄花・雌花の不思議
※自由参加、無料

10:00～12:00 学習室 集合
講師：NHK 広島文化センター
アシスタント
上村 恭子

- 4月10日(月) 『春の写真教室』
春を写そう
※定員に達したため締切りました

10:00～12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭

- 4月16日(日) 『山菜教室』
山菜について学び、山菜料理を試食
※要予約(先着30名)、無料

10:00～12:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔
横井 登美子

- 4月23日(日) 『八重桜めぐり』
遅咲きの八重桜を見て歩こう
※自由参加、無料

10:00～12:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ガラスケース展示)

- ・フラワーアレンジメント「花ざかり」作品展
～4月30日(日)

場所:学習展示館

(ボード展示)

- ・緑化センターのさくら写真展
～5月中旬



フラワーアレンジメント「花ざかり」作品展

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ・さくら祭りお楽しみイベント 4月2日(日)
詳細はホームページ、チラシをご覧ください
- ・さくら祭り ～4月23日(日)
さくらクイズに答えて景品ゲット!
- ・春のおでかけキャンペーン
～5月28日(日)
緑化センター・森林公園
両園でスタンプを集めて景品ゲット!



緑化センターのさくら写真展

みどりの集い (多目的広場)

4月29日(土・祝) 10:00～15:00
コンサート、木登り体験、
ノルディック・ウォーク
カブトムシ幼虫さがし、
折紙ヒコーキ飛ばしなど

～森林公園イベント情報～

4月8日・15日(土) 夜間開園 (神楽上演)
4月9日(日) 自然観察会 (植物観察)
4月16日(日) 二胡コンサート・ネイチャーゲーム
4月22日(土) フルートコンサート
4月23日(日) スタンプラリー
4月29日(土・祝) 森のアカペラコンサート